

令和2年11月5日（木）

中日新聞 東濃版

恵那市岩村町の造成・外構工事業「東海グリーン開発」は十月二十九日、町内で特別養護老人ホームを運営する社会福祉法人恵那会に、非接触型検温センサー四台（百七十万円）と、十六銀行の私募債「つ

検温機器などを 社福法人に寄付

恵那の企業

ながる「ころ」の発行手数料の一部十万円も寄付した。市内で開かれた贈呈式では、東海グリーン開発の梶田増雄社長が「新型コロナウイルス感染症対策に役立ててほしい」とあいさつ。十六銀行岩村支店の坂本賢司支店長とともに、恵那会の井口智雄理事長に目録を手渡した。井口理事長は「地



井口理事長(右)に目録を手渡す梶田社長(中央)と坂本支店長＝恵那市内で

域の医療崩壊を防ぐ意味でも施設利用者の感染防止に努めたい」と述べた。

(長谷部正)

令和2年11月5日（木）

岐阜新聞 東濃地域版

東海グリーン開発 特養へ10万円寄付

十六銀私募債を活用

住宅基礎施工の東海グリーン開発（恵那市岩村町）と十六銀行は、町内で特別養護老人ホームを運営する社会福祉法人恵那会へ10万円を寄付した。発行手数料の一部を寄付

に充てる同行のじゅつろくSDGs私募債「つながるころ」を活用した。地元介護施設を応援するため寄付した。同社役員と法人関係者が幼なじみとい



井口智雄理事長(右)へ目録を手渡す梶田増雄社長(中央)ら＝恵那市大井町

う。グループ元の医療法人が運営する同市大井町の介護老人保健施設でセラモニーがあり、梶田増雄社長が井口智雄理事長へ目録を手渡した。梶田社長は「新型コロナウイルス対策が必要で、施設の役員、入所の高齢者の人たちの役に立てば」と話し、井口理事長は「地域唯一の特別養護老人施設として使命をしっかりと果たしたい」と感謝した。同社は独自で、計170万円相当の非接触型検温センサー4台も寄贈した。

(三輪真大)